

【第2回ライオンズクエストフォーラム全国大会】

報告（JIYD 作成）

2015年8月22日・23日に「第2回ライオンズクエストフォーラム全国大会」が栃木県佐野市で開催されました。全国各地から総勢約400名のライオンズクラブメンバーや教育関係者をご参加くださり、盛況のうちに終了いたしました。参加者の皆様、佐野日本大学中等教育学校の皆様、主催のライオンズクラブ国際協会333-B地区／333-C地区の皆様、その他関係者皆様に心より感謝申し上げます。

日 程： 8月22日（土）・23日（日）

会 場： 佐野日本大学中等教育学校（8月22日）、ホテルサンルート佐野（8月23日）

主 催： ライオンズクラブ国際協会333-B地区（栃木県）と333-C地区（千葉県）

協 賛： ライオンズクラブ国際協会333複合地区、佐野日本大学中等教育学校、JIYD

後 援： ライオンズクラブ国際協会333-B/C地区・各ライオンズクラブ

栃木県教育委員会・千葉県教育委員会・佐野市・佐野市教育委員会

●実践発表（普及活動編）：ライオンズクラブの粘り強い取り組み

ライオンズクラブ国際協会333-B地区（栃木県）と333-C地区（千葉県）がライオンズクエスト普及活動を実施してきた過程について、地区を代表して渡辺健氏と橋爪雅子氏が発表されました。ライオンズクラブメンバーの皆様が粘り強く活動してきたこと、委員会を重ねて情報共有してきたことによって継続できていることを知ることができました。



●認定講師講演：どんな大人になる？どんな行動ができる人になる？

認定講師：原田達明先生が「生きる力を持った子どもが大人になったとき」をテーマに講演しました。ライフスキルやライオンズクエストとは何か、道徳教育との関連、ライオンズクエストを広げるキーワードなどをお話され、それらを踏まえて「どんな大人になる？」

どんな行動をする・できる人になる？」
 ということを考えました。安心・安全・
 居心地の良い環境を作ることができる
 人、そばにいて安心できる存在になれ
 ることがその一つ。“生きる力”と“行
 動できること”の重要性を再確認しました。



●公開授業：佐野日本大学中等教育学校 4 学年 14 クラス

中学 1 年生～4 年
 生（高校 1 年生）の
 4 学年 14 クラスが
 一斉に公開授業を
 実施。実際に子ども
 たちがライオンズ
 クエストの授業を



受けている様子を見学できる機会はなかなかありません。子どもたちの活発な活動、先生方の授業展開を見学することができ、大変貴重な時間となりました。

【各学年の授業内容】

中学 1 年生	上手な話の聞き方（上手な話の聞き方を具体的に学びました）
中学 2 年生	谷底から頂上へ（考え方次第でその後の行動や感情が変化することを学びました）
中学 3 年生	賞賛の気持ちを表現する（他者を認め、具体的に表現することを学びました）
高校 1 年生	怒りを鎮めて冷静に考える（怒りによる身体の変化、鎮める方法、その後の行動を学びました）

●意見交換会：生徒や先生たちの生の声

公開授業を見学した後、授業実施者である先生方と授業を受けた生徒たちと意見交換会を実施しました。授業を受けている生徒からは、「ライフスキルの授業では自分では考えられない意見がきける」、「グループ活動が多い」といった意見がでました。先生方からは、「ライフスキル教育を導入して、お互いを知るきっかけがたくさんあるので生徒同士が仲良くなった」、「生徒が先をよんで行動できるようになったように感じる」という感想を伺いました。また、「授業では導入で目的をおさえることが大事であるが難しい」といった課題もきかれました。

●懇親会：人と人とのつながりは、まさにライフスキル

ライオンズクラブメンバーや教育関係者の皆様とともに懇親会。さまざまな立場の方々とお話する機会があり、つながりを広げる場となりました。また、足利市八木節連合会の皆様が「八木節」をご披露くださり、最後は参加者も一緒に踊りました。こうしてともに活動することで場が和み、円滑なコミュニケーションがはかれます。これもまさにライフスキル！と感じました。



●実践発表（学校導入編）：学校が安心できる場所になった

佐野日大中等教育学校の八下田久美子先生が、ライオンズクエストを導入するところから現在までの経緯、授業計画、取り組み方、授業風景などを細かくご説明くださいました。道徳の教科化との関連や導入による学校や生徒たちの変化についてもお話しください、参加者皆様にとって大変勉強になりました。



【発表内容のポイント】

道徳科との関連	道徳科の内容・目的と似ている 「教える」から「自分で考える」へ より良い生き方を見つける手助け
生徒の変化	自己肯定感が高い 物事にすすんで取り組む 目的を持って行動する
学校の変化	生徒が落ち着いている、学校が安心できる場所である 生徒指導が少ない、学習活動に集中できる 行事に一生懸命取り組む 自分たちで考えてより良いものにしようとする姿勢がある 教師がいなくてもやるべきことに取り組む

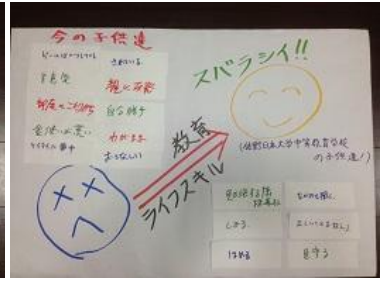
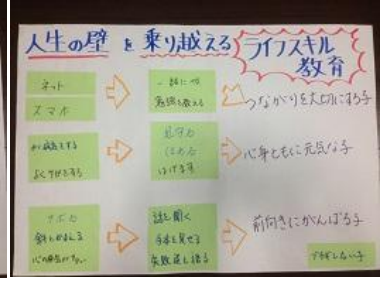
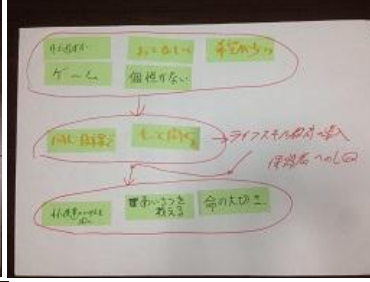
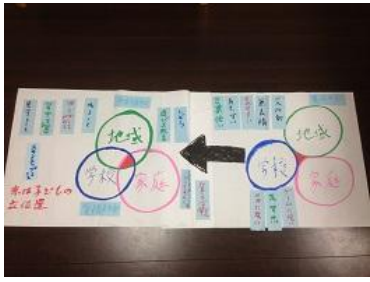
●意見交換会：グループ活動を通して、皆でポスターづくり

認定上級講師：佐渡涼子先生がファシリテーターとなり、参加者全員がグループに分かれ、前日の公開授業の内容や感想を意見交換。その後、「今どきの青少年」・「私たち大人ができること」についてブレインストーミングで意見を出し合い、それらをもとに「ライフスキル教育を地域に紹介しよう」というテーマのポスターを各グループで作成しました。最後に完成したポスターを発表し、ライフスキル教育の必要性とライオンズクエストが目指す「学校・家庭・地域」の連携を確認しました。



【作成したポスター】





●エクスカーション：日光方面



大会終了後、希望者は日光方面へ。日光東照宮、神橋（渡橋）、日光田母沢御用邸記念公園等をまわりました。暑さも和らぎ、さわやかな風の中の観光は気持ちよいひとときとなりました。

以 上